

“60秒でサッと読めます”

企業の活力を引き出す



(会計の工夫 53)

平成 25 年 3 月 22 日 (金)

専門家として、中小企業の経営のサポートする場合に、一番大切なことは、「**企業の活力を引き出すこと**」と「**正しい市場で活動すること**」だと考えている。何故ならば、企業は、**既に一定水準の組織**を持ち、人員、商品、顧客、生産又は販売設備を備えて営業をしている。即ち、人であれば、教育も受け、経験も積んだ**成人**である。企業を活力の点でサポートして、**更に活性化し、成長していってもらえれば**ということである。

最近、沖縄総合事務局財務部の地域密着型シンポジウムの折に、1年程前に不発弾探査の業界標準の機械を開発したその業界のトップクラスの企業に**インタビュー**をした。開発のきっかけは、オーナーが病気で現場へ行けなくなったことである。健康な頃は、毎日が現場で、**今日一日との戦い**であった。ところが、病気になって、はじめて**昨日を捨てる**ことを学んだ。昨日を捨てるとは、現場でなく事務所で過ごすことで、**少し先のことを考える**余裕が出たこと。そして、これが**企業に活力を生んだ**。

従来の業界の**個人技的な不発弾探査**、いわゆる**アナログな作業処理を普遍化**することを考え、**精度と科学性のある不発弾探査の機械**の製作に挑戦した。沖縄職業能力開発大学の教授や村田製作所、銀行の ABL による資金提供等の協力は大きな成功要因であった。開発に成功した機械は、現場での不発弾探査を今までと大きく変えた。**企業の活力を引き出したのである**。

機械の面でも、経営態度の面でも、人材育成の面でも、その経営者の言うデジタル化の面が企業に活力を生んだ。

(アナログ的)くり返し

→

(デジタル的)新しい活力

一日中現場での労働

目の前主義、非科学的

同じことのくり返し

(今日との戦い)

固定的、進歩がない

部分的な資料

固定的、非科学的

事務所で改めて手作業の報告書

事務所でものを考える経営者

少し先を見る経営態度

既存の技術、経験の振り返りと反省

(昨日を捨てる)

弾力的、一歩先を見る人材教育

全体的で詳細な資料の準備

分析、シミュレーション、科学的な作業

統一的で分析的な報告書の作成

その企業の現在及び今後の市場についていうと、約 70 年前沖縄に投下された約 20 万トンの爆弾の約 3% の 7 千トン余りが不発弾として未処理だという。最近でも糸満では大きな事故があった。その処理には 20 年を要すが、**市場としてはあと 5 年程度**だという。5 年後に新たな事業が立ち上がっていなければならないが、今日との戦いをやり抜く中で、**少し先を考える**、カーテンの先を見るような、**企業活力を引き出す経営**なら将来も継続すると考えられる。